

事業報告書

令和6年度

令和6年4月1日～令和7年3月31日

株式会社 橘花会
ベアキッズ保育園

1	保育事業報告	<p>保育利用者状況について、開園6年目を迎え、ほぼ定員を満たした 在園児数を確保した。また、在園児のほとんどが標準時間利用児であ った。今後も長時間保育を念頭においた環境整備や、育児家庭支援の 更なる充実が重要と考えて、保育士配置を検討する必要がある。賃金 は人事院勧告を加味し支給した。</p> <p>地域住民を対象に地域子育て支援活動ベアっこ・なかよしを実施し た。社会的意義の重要性を鑑み、育児相談についても主に園見学時を 利用して子育て家庭に対して悩みを聞き入れアドバイスを行った。 また、地域支援活動利用者が本園の保育理念を理解した上で入園する など、地域に園の方針や特徴を伝える効果も高いと考えている。</p> <p>保護者の保育体験（保育参加）を実施し、保護者に子どもたちの園 での様子、保育士の関りや給食を体験し、保護者からは良い体験だっ たと評価を得ている。この事は職員にとっても保育活動の評価反省 や、保育の向上にも繋げることになっている。</p> <p>重点目標について</p> <p>① 全職員間であいさつを奨励する。 → 職員間でのあいさつ、言葉かけは日常的に増え、職場の雰囲気の良い は向上した。</p> <p>②各職員が、テーマをもって職務を行う。 報告、連絡、相談を密に行いコミュニケーションを大切にする。 → 目標をもって保育を実施できた。相談しあう事、連携を取る事の重要 性を職員会議を通して話し合い、職員間のコミュニケーションも良好 にとれている。</p>
2	保育内容	<p>保育活動全般に関して保育理念、方針、目標を共有し、園内研修で繰 り返し議題とし、職員全員が同じ方向を向いてチームとなって保育を 行っている。年間カリキュラム、月案に基づいて、週案を構成し、反 省評価へと繋げていき、保育の質向上を目指した。</p> <p>目標を達成するために保育士個人個人が持てる力を発揮できるよう に努力し、自分に与えられた役割は何かを意識し、職員間の関係を高 めていった。ヒヤリハットや事故報告の共有により、同じミスをしな いよう努めた。</p> <p>子ども達の個性も踏まえ、保育活動を計画的に実施した。幼児クラ スは運動会、発表会を通して成長の姿を保護者に知らせた。お店屋さ んごっこ、クリスマス会、おたのしみ会等の行事は職員と子どもたち で楽しむ事が出来た。年間計画の反映とそのフィードバックにより、 よりよい保育となるよう意識を高く持っている。</p>

3	職員の確保及び職員が働きやすい職場環境づくりに対する考え方と取り組み	<p><職員の確保></p> <p>職員は配置基準を満たして雇用することができた。シフト作成に、ワークライフバランスを考えた勤務にした。</p> <p>次年度から姉妹園の千代田園が開園するため、栄養士は兼務者を増員した。</p> <p><職員構成></p> <p>園長 1 名 主任保育士 1 名 保育士 17 名 子育て支援員 5 名 調理員 4 名（兼務栄養士 1 名・調理員 3 名） 事務員 2 名 嘱託医 2 名（非常勤）</p> <p><勤務評定制度について></p> <p>保育園自己評価を年 1 回実施して、客観的に評価した。</p> <p><職員の安全・衛生・健康管理について></p> <p>職員の健康を維持するために、下記内容を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員健康診断 1 回（常勤職員） ・職員インフルエンザ予防接種補助 								
4	コンセプト	<p><事業概要> ベアキッズ保育園の運営</p> <table border="1" data-bbox="608 1245 1469 2107"> <thead> <tr> <th data-bbox="608 1245 762 1294">区分</th> <th data-bbox="762 1245 1469 1294">内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="608 1294 762 1630">計画地・建物</td> <td data-bbox="762 1294 1469 1630"> 場所：市川市鬼高 2-13-16 最寄駅：JR 総武線「下総中山駅」より徒歩 8 分 敷地面積：303.81 m² 建築面積：181.77 m² 延床面積：327.97 m² 構造：鉄骨造（耐火） 園庭（代替）：大堤公園 プール遊びスペース：あり 駐車場：なし 駐輪場：あり（5 台） </td> </tr> <tr> <td data-bbox="608 1630 762 1827">保育理念</td> <td data-bbox="762 1630 1469 1827"> 子どもの成長を第一に考え、ひとり一人の個性を大切に子どもを中心とした保育を行います。 心地良い場となるような環境づくり、温かく丁寧な保育を心がけていきます。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="608 1827 762 2107">保育方針</td> <td data-bbox="762 1827 1469 2107"> <ul style="list-style-type: none"> ・安全安心安定の中で子どもが伸び伸び活動できるよう援助する。 ・身の回りのことに対して興味や関心を広げ、感性や意欲、表現力を養う。 ・保護者に寄り添い連携を大切に、子どもの成長を共に喜び合う。 </td> </tr> </tbody> </table>	区分	内容	計画地・建物	場所：市川市鬼高 2-13-16 最寄駅：JR 総武線「下総中山駅」より徒歩 8 分 敷地面積：303.81 m ² 建築面積：181.77 m ² 延床面積：327.97 m ² 構造：鉄骨造（耐火） 園庭（代替）：大堤公園 プール遊びスペース：あり 駐車場：なし 駐輪場：あり（5 台）	保育理念	子どもの成長を第一に考え、ひとり一人の個性を大切に子どもを中心とした保育を行います。 心地良い場となるような環境づくり、温かく丁寧な保育を心がけていきます。	保育方針	<ul style="list-style-type: none"> ・安全安心安定の中で子どもが伸び伸び活動できるよう援助する。 ・身の回りのことに対して興味や関心を広げ、感性や意欲、表現力を養う。 ・保護者に寄り添い連携を大切に、子どもの成長を共に喜び合う。
区分	内容									
計画地・建物	場所：市川市鬼高 2-13-16 最寄駅：JR 総武線「下総中山駅」より徒歩 8 分 敷地面積：303.81 m ² 建築面積：181.77 m ² 延床面積：327.97 m ² 構造：鉄骨造（耐火） 園庭（代替）：大堤公園 プール遊びスペース：あり 駐車場：なし 駐輪場：あり（5 台）									
保育理念	子どもの成長を第一に考え、ひとり一人の個性を大切に子どもを中心とした保育を行います。 心地良い場となるような環境づくり、温かく丁寧な保育を心がけていきます。									
保育方針	<ul style="list-style-type: none"> ・安全安心安定の中で子どもが伸び伸び活動できるよう援助する。 ・身の回りのことに対して興味や関心を広げ、感性や意欲、表現力を養う。 ・保護者に寄り添い連携を大切に、子どもの成長を共に喜び合う。 									

		<table border="1"> <tr> <td data-bbox="593 85 762 286">保育目標</td> <td data-bbox="762 85 1477 286"> <ul style="list-style-type: none"> ・心身ともに健康な子ども ・自分で考え、行動できる子ども ・自己表現のできる子ども ・喜んで話し、楽しんで聞く子ども </td> </tr> <tr> <td data-bbox="593 286 762 432">利用定員</td> <td data-bbox="762 286 1477 432">0歳(57日～):6人、1歳:10人、2歳11人、3歳:11人、4歳:11人、5歳:11人 計60人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="593 432 762 483">開所時間</td> <td data-bbox="762 432 1477 483">平日:午前7:30～午後8:00</td> </tr> <tr> <td data-bbox="593 483 762 580">保育時間</td> <td data-bbox="762 483 1477 580">平日・土曜日(標準時間):午前7:30～午後18:30 (短時間):午前9:00～午後17:00</td> </tr> <tr> <td data-bbox="593 580 762 772">特別保育事業</td> <td data-bbox="762 580 1477 772"> <ul style="list-style-type: none"> ①延長保育事業 ②地域活動推進事業(世代間交流事業、中高生保育体験事業等) ③育児・子育て相談 </td> </tr> </table>	保育目標	<ul style="list-style-type: none"> ・心身ともに健康な子ども ・自分で考え、行動できる子ども ・自己表現のできる子ども ・喜んで話し、楽しんで聞く子ども 	利用定員	0歳(57日～):6人、1歳:10人、2歳11人、3歳:11人、4歳:11人、5歳:11人 計60人	開所時間	平日:午前7:30～午後8:00	保育時間	平日・土曜日(標準時間):午前7:30～午後18:30 (短時間):午前9:00～午後17:00	特別保育事業	<ul style="list-style-type: none"> ①延長保育事業 ②地域活動推進事業(世代間交流事業、中高生保育体験事業等) ③育児・子育て相談
保育目標	<ul style="list-style-type: none"> ・心身ともに健康な子ども ・自分で考え、行動できる子ども ・自己表現のできる子ども ・喜んで話し、楽しんで聞く子ども 											
利用定員	0歳(57日～):6人、1歳:10人、2歳11人、3歳:11人、4歳:11人、5歳:11人 計60人											
開所時間	平日:午前7:30～午後8:00											
保育時間	平日・土曜日(標準時間):午前7:30～午後18:30 (短時間):午前9:00～午後17:00											
特別保育事業	<ul style="list-style-type: none"> ①延長保育事業 ②地域活動推進事業(世代間交流事業、中高生保育体験事業等) ③育児・子育て相談 											
5	安全・安心のための対策	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士の事故に対する意識低下を防止するため、1か月に1度「事故防止チェックリスト」への記入を行った。 ・1か月に1度、「設備点検チェックリスト」を用いて、設備・整理棚などの安全点検を実施した。 <p><外出移動時の安全管理></p> <ul style="list-style-type: none"> ・出発前に園児の人数確認をし、園児数と移動行程、帰園予定時刻を施設長に提出した。 ・安全確保のため、必ず、複数の保育士で園児を引率した。 ・保育士が車道側を歩き、園児が自動車と接触することのないように注意を払い、急な飛び出しを常に想定し、引率した。 ・自力歩行が困難な園児にあつては、安全対策としてベビーカーまたはお散歩カーに乗せるようにした。 <p><代替え園庭使用時の安全管理></p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全点検表を整備、活用し、公園を利用する前に、その都度各遊具やその周辺の地表面、その他の設備(水飲み場やベンチ)の安全確認を行った。 ・現地にて遊ぶ前に園児たちに、保育士の目が届く場所の範囲で遊ぶこと、敷地内から出ないこと等の注意事項を伝達しあつて注視した。 ・保育士が緊急時の対応として、園所定のリュック(救急セット、保護者緊急連絡先リスト、予備おむつ、ゴミ袋、汚物入れ袋、携帯電話等を携帯した。 ・職員は常に笛を携帯し、不審者進入時に周囲に危険を知らせるようにした。 										

6	園児等への配慮	<p><園児></p> <ul style="list-style-type: none"> ・園児の国籍、信条、社会的身分又は入所に要する費用を負担するか否かによって、差別的取扱いをしないよう、職員の意識共有を職員会議等で図った。 ・利用を始めた年齢の相違により集団生活の経験年数が異なる子どもがいることなど、就学前までの一貫した保育を子どもの発達の連続性を考慮した。 ・子どもの一日の生活の連続性及びリズムの多様性に配慮した。 <p><保護者></p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者へ「保育の重要性」をはっきりとした認識で伝え、当園の信じる保育方針を見守ってもらい、短期・中期・長期に結果を見える形で報告連絡をして信頼関係を構築した。 ・子育て相談窓口の推進と体制の充実、苦情対応管理体制の整備に努めた。今期苦情は0件であった。 ・日々の連絡帳のやり取りや会話を大切に、安心して預けてもらえるように配慮した。保育参加と個人面談を1回実施した。
7	給食に対する考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・0歳児月齢に合わせた離乳食 ・1～2歳児昼食、午後おやつ ・3～5歳児昼食、午後おやつ ・延長児補食 ・アレルギー児への除去食対応 ・食育活動（クッキング、箸の使い方、とうもろこしの皮むきなど）
8	非常時及び事故発生時の安全対策について	<p><火災訓練></p> <p>月に1度の避難訓練を実施した。隣家、給食室、事務所などその都度火災発生場所を変え、万が一の事態が起きた時にも慌てることなく冷静に避難が出来るよう訓練をします。</p> <p><地震訓練></p> <p>月に1度避難訓練を実施。地震発生の発令で、園児の身に危険が及ばないよう、まずは室内中央に迅速に園児を集めます。年に1回は、保護者に参加頂き、実際に引き渡し訓練を実施した。また、広域避難場所、一時避難場所まで避難の練習を行った。</p> <p><水害訓練></p> <p>当園は川沿いに位置していることもあり、大規模水害が発生した事を想定し、鬼高小学校へ一時避難訓練を行った。</p>

		<p><不審者侵入された場合の訓練></p> <p>万が一不審者に侵入された場合には、どこの入り口から入ってこられても対応出来るよう、考えられるすべての出入り口を想定し、園児を守る職員、通報する職員、不審者に対峙する職員の動き等の指導を警察から受けた。</p> <p><SIDS 予防訓練></p> <p>乳幼児突然死症候群を防ぐために、0才児から2歳児までは、5分毎のチェックを行い、職員が有事に慌てることなく対処できるようにした。</p> <p><事故発生時の対応></p> <p>2020年2月に非常時対応マニュアルを見直して、対応方法を決定した。練習用AEDとマネキン人形を使用して心肺蘇生訓練を行った。</p>
9	投薬	<p>投薬の実施はなかった。緊急対応のためアレルギー薬、熱性痙攣の座薬の預かりもなかった。</p> <p><薬の保管方法></p> <p>預かり無し。</p>
10	園児の発達状況及び保育目標に関する記録と保育への活用	<p><子どもの保育目標></p> <p>【0才児】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・清潔で安全な環境の中で個々の生活リズムを整えながら安心してゆったりと過ごす。 <p>【1才児】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育者に親しみ、安定した情緒の中で生活し、安心して過ごす。 <p>【2才児】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育者の安定した関わりの中で、基本的な生活習慣を身に付け、友だちと一緒に遊ぶ楽しさを知る。 <p>【3才児】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活のしかたを知る。 ・保育者や友だちと遊ぶ中で自分のしたい事、言いたい事を言葉や行動で表現する。 <p>【4歳児】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣を身につけ、自分で考えながら行動する。 ・保育者や友だちとの関わりを深め、友だちの気持ちに気付き集団で行動出来るようにする。

		<p>【5才児】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友だちと協力したり、考えたりしながら様々な事に挑戦し自信を獲得していく。 <p><職員間での情報共有・保育への活用></p> <ul style="list-style-type: none"> ・園児一人ひとりに向き合い、すべてのクラスの子どもの状況をすべての職員が把握できるようにする。登降園の際の保護者からの子どもの情報は小さなことでも、全職員で共有した。 ・各クラス担任は、各家庭と密に情報を共有出来るよう、連絡帳を活用した。園全体で把握したほうがよい情報については、ミーティングで伝え共有した。 ・幼児クラスは一日の活動内容が保護者に伝わるよう、クラスごとに活動内容を写真で表し掲示した。 ・園全体での職員会議を月1回開催し、日常の保育や子ども達の様子を全体で把握するよう努めた。必要に応じてミーティングを行い、保護者からの相談や子どもの気になる様子、保育者が気が付き、気を付けなければならない事等を情報共有した。 ・園児の発達状況は、その発達についての記録を児童票に残した。
6	保護者に対する情報提供	<p><配信・発行物></p> <ul style="list-style-type: none"> ・園だより、保健だより、給食だより、献立表を月に1回配信した。クラスだよりは 年3回発行した。 ・その他、保護者への周知文書に関しては、その都度配信した。 <p><日常保育の様子を保護者へお知らせする方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・連絡帳を活用します（0、1、2才）。日々、家庭での様子、園内での様子を連絡帳を使って保護者と情報の共有を図った。 <p><事故発生時における保護者への連絡方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害発生や、大きな事故で一斉に緊急連絡が必要な場合は、はいチーズシステムを利用し、保護者へ通知した。
7	保育園と保護者あるいは保護者同士の意見交換の機会の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・年に1回の個人面談を実施した。 ・園児の家庭での様子を何うとともに、園内での園児の様子を、担任保育士より伝え共有した。
8	保護者からの意見・要望・クレームへの対応	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者からのクレームはなかった。 ・意見箱を設置して、意見の集約を図ったが投函はなかった。
9	職員の育成方針	<ul style="list-style-type: none"> ・職員が日々の保育でマンネリ化しないよう、個々の得意な分野を生かしながら保育が行えるよう環境を整備した。 ・園外の研修にはキャリアを問わず積極的に参加出来るよう、勤務時間の工夫をした。 ・月に一度の職員会議で、職場環境等を相談しあった。
10	地域交流	<ul style="list-style-type: none"> ・卒園児の連携先である市川市立鬼高小学校へ5歳児交流会に参加し

		<p>た。他施設の様子を見る事で、当園の職員の意識の向上、レベルアップにつながった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民を対象に地域子育て支援活動ベアっこ・なかよしを年5回実施した。
11	保育内容の評価	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの成長を見守り、援助する保育士のレベルがより向上出来る様、第三者委員を設置している。運営に関する報告会を実施した。 ・職員会議を通して、職員が自身の保育を振り返るための時間を設けた。 ・年に2回、園長、職員面接を行い、職員の悩みや考えを受入れ、必要であれば助言・指導を行うことで、保育士がより仕事に意欲を持ち子どもたちの成長を感じる事の出来る環境整備を目指した。 ・市川市主催に限らず、保育の現場で役立てたい内容の講座や、研修キャリアアップ研修等に参加した。
12	保健衛生	<ul style="list-style-type: none"> ・園児定期健康診断年2回 ・園児定期歯科健診年2回 ・職員健康診断年1回（常勤職員） ・職員インフルエンザ予防接種補助 ・調理員検便検査年12回 ・感染症拡大防止対策 ・園児身体測定年12回
13	年間実施会議	<ul style="list-style-type: none"> ・職員会議 月1回 園長・主任保育士・常勤全員 ・リーダー会議 随時 園長・主任保育士・副主任保育士 ・クラス会議 月1回 園長・主任保育士・担任保育士 ・給食会議 月1回 園長・主任保育士・常勤全員 栄養士 ・個人面談 年1回 担任保育士・保護者 ・保育参加 年1回 職員・保護者 ・各行事反省会 全職員 ・株主総会 代表取締役が召集 株主 ・市川市私立保育園園長会 随時 園長
14	施設整備	<ul style="list-style-type: none"> ・防災設備、備品の確保 ・園周りの植栽整備 ・園舎の定期清掃、美化 ・OA 機器補充、交換 ・家具什器補充 ・非常食糧の備蓄食品の入替
15	資金計画、積立計画	「令和6年度決算書」参照
16	その他	自己評価を公表した。